



2022年7月28日

株式会社 阿波銀行

有限会社ダイコー精機製作所の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGsの達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、有限会社ダイコー精機製作所（代表取締役 遠藤 大輔、本社：神奈川県川崎市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	有限会社ダイコー精機製作所
所在地	神奈川県川崎市高津区北見方三丁目10番5号
代表者	遠藤 大輔
業種	金属加工業
設立	1981年8月10日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGsの達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGsの達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年7月28日



有限会社ダイコー精機製作所 代表取締役 遠藤 大輔

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	多様な人材活用	性別、国籍、年齢、人種、出身、宗教などによる差別の禁止を目的に、多様な人材が活躍できる環境の整備に努めます。	①多様な人材の雇用		
			②2025年までに男性雇用率33.3% 女性雇用率33.3%、 外国人雇用率33.3%		
環境・経済	省エネ・温室効果ガスの排出削減	CO2排出抑制のために、エネルギー使用量の把握に努め、さらなる省エネ・節電を推進します。	①LED化の推進		
			②2025年度までに導入率100%		
社会・経済	地域活性化・産業振興	持続可能な地域づくりのため、地域の社会的・経済的な活性化の取組みを行います。	①地域住民向けに工場見学や事業説明を実施		
			②年1回オープンファクトリーを開催		
環境・社会・経済	災害・事故・事業リスクの未然防止	災害や事故等の有事においても、事業を復旧・継続するため、対応し得る万全の準備を行います。	①食糧の備蓄		
			②2025年までに社員分および周辺地域住民10世帯分の水を備蓄		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。